※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版　高等学校「地学基礎」（数研出版）						
副教材等	地学基礎サポートノート（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地学基礎では、私たちを取り巻く自然について学習します。
・自然を観察し、そこに「不思議だ、と感じる視点」を持ち「なぜ、そのようなことが起こるのか」を考えることを積み重ねていくことが大切です。
・授業の予習・復習は必須です。授業前には教科書を読むことを習慣づけてください。
・定期テストの際は、指定された問題集をノートに解いて提出します。
・授業で使うプリントは丁寧に記入し、授業後に提出するとともに、問題集を用いた復習を行う際に、教科書とともによく読んで、理解の定着を図ってください。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について、理解を深めるとともに、観察・実験などに関する基本的な技能を身につけ、科学的に探究する力を養う。また、地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養う。
・地学基礎の学習内容が、日常生活と深くかかわることを知り、身近な自然現象への関心を高める。
・科学的に探究するために、どのような観察や実験が必要であるかを知り、それらに対する基本的な技能を身に付けるようにする。
・自然現象と人間生活との関連を理解し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期タ	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1部　固体地球とその活動	第1章　地球 第１節　地球の概観 第２節　地球の内部構造	a：地球の形と大きさについて理解することができる。 地球内部の層構造とその状態について理解することができる。 b：地球の形と大きさについて、観察や測定の結果などから考えることができる。地形図を用いて地球の大きさを求めることができる。地球内部の層構造の状態について考えることができる。 c：地球の特徴に興味を持ち、地球の形と大きさについて調べようとする。地球の特徴に興味を持ち、地球の内部構造につて調べようとする。	・定期考査 ・授業観察	・定期考査 ・演習プリント	・授業観察 ・ノート ・実習プリント
		第２章　活動する地球 第１節　プレートテクトニクスと地球の活動 第２節　地震 第３節　火山活動と火成岩の形成	a:　3 種類のプレート境界について理解することができる。プレート運動に伴う地形や地質構造、変成岩の形成について、理解することができる。 　地震の発生のしくみについて、理解することができる。 プレート境界やプレート内部における火山分布や火山活動の特徴を理解することができる。 　組織と造岩鉱物の組成に基づく火成岩の分類を理解することができる。 b:　大地形や地構造、変成岩の形成、地震発生の仕組み、火山活動の仕組み、について、プレート運動と関連づけて考えることができる。 c:プレートの運動に興味を持ち、プレート運動に伴う大地形や地質構造、変成岩の形成、地震発生の仕組み、火山活動の仕組みについて調べようとする。 　地震の発生のしくみや火山活動の仕組みについて振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。	・定期考査 ・授業観察	・定期考査 ・演習プリント	・授業観察 ・ノート ・実習プリント

※令和４年度以降入学生用

2学期	第2部　大気と海洋	第1章　大気の構造 第１節　大気圏 第２節　水と気象	a:大気圏の層構造と雲の発生の仕組みを理解することができる。 b:気温や気圧の鉛直方向の変化から、大気の層構造について考えることができる。 　雲の発生の仕組みについて、大気中の水蒸気のふるまいと関連付けて考えることができる。 c:身近な体験から大気の特徴に興味を持ち、大気の層構造について調べようとする。大気圏の層構造について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。 　大気の特徴に興味を持ち、雲の発生のしくみについて調べようとする。雲の発生の仕組みについて振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。	・授業観察 ・定期考査	・定期考査 ・演習プリント	・授業観察 ・ノート ・実習プリント
		第２章　太陽放射と大気・海水の運動 第１節　地球のエネルギー収支 第２節　大気の大循環 第３節　海水の循環	a:地球全体のエネルギー収支が釣り合っていることと、緯度によってエネルギー収支が違っていることを理解することができる。 　大気の大循環によって低緯度から高緯度へ熱が輸送されていることを理解することができる。 b:地球全体のエネルギー収支と　緯度によるエネルギー収支の違いについて考えることができる。 　大気の大循環による熱の輸送について考えることができる。 　観測データをもとに、緯度と地球放射エネルギーおよびエネルギー収支の関係をグラフに表すことができる。 c:地球が宇宙との間でエネルギーを吸収・放射していることからに興味を持ち、地球全体のエネルギー収支や緯度によるエネルギー収支の違い、大気の大循環による地球規模の熱の輸送について調べようとする。	・授業観察 ・定期考査	・定期考査 ・実験プリント ・小テスト	・授業観察 ・ノート

※令和４年度以降入学生用

		第3章　日本の天気 第１節　日本の位置 第２節　冬から春の天気 第３節　夏から秋の天気	a:　季節ごとの偏西風の位置や季節風のしくみについて理解することができる。 　日本の冬から春の天気の特徴を理解することができる。 　日本の夏から秋の天気の特徴を理解することができる。 b:季節ごとの偏西風の位置や季節風のしくみについて、考えることができる。 　日本の冬から春の天気と気圧配置の関係について考えることができる。 　天気図から必要な情報を読み取ることができる。 　日本の夏から秋の天気と気圧配置の関係について理解することができる。 c:天気ついて興味を持ち、日本の天気に影響を与える偏西風や季節風の特徴について調べようとする。 　日本の天気について興味を持ち冬から春の天気について、調べようとする。 　冬から春の天気について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。 　日本の天気について興味を持ち、夏から秋の天気について調べようとする。 　夏から秋の天気について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。	・授業観察 ・ノート ・定期考査	・定期考査 ・演習プリント	・授業観察 ・ノート

※令和４年度以降入学生用

	第3部　移り変わる地球	第１章　地球の誕生 第１節　宇宙の誕生 第２節　地球と生命の進化	a:宇宙の誕生について理解することができる。 　恒星としての太陽の誕生について理解することができる。 　太陽系の誕生と地球型惑星と木星型惑星の成因の違いについて理解することができる。 　太陽系の各天体について理解することができる。 　地球が生命を生み出す環境となった理由について理解することができる。 b:宇宙の誕生と恒星としての誕生について、考えることができる。 　太陽系の誕生と惑星の成因　恒星としての太陽の誕生について理解することができる。 について考えることができる。 　太陽系の各天体の違いを比較し、地球が生命を生み出す環境となった理由について考えることができる。 c:宇宙と太陽の誕生の経緯に興味を持ち、宇宙の誕生と恒星としての太陽の誕生について調べようとする。 　太陽系と地球の誕生の経緯に興味を持ち太陽系の誕生と太陽系の各天体の特徴および地球が生命を生み出す環境となった理由について調べようとする。	・授業観察 ・定期考査	・定期考査 ・演習プリント ・小テスト	・授業観察 ・ノート

※令和４年度以降入学生用

３学期い	第３部　移り変わる地球	第1節　地層からわかること 第2節　地層の形成 第3節　地層の読み方	a:地層に基づいて地球の歴史を知ることができる理由について理解することができる。 流水のはたらきによって地層が形成されるしくみを理解することができる。 堆積岩が形成されるしくみを理解することができる。 地質構造や化石などの地層の記録や、地層の対比などに基づいて地球の歴史を知る方法を理解することができる。 化石を観察し、特徴を押さえてスケッチすることができる。 b:地層に基づいて地球歴史を知ることができる理由について考えることができる。 流水の働きによって地層が形成される仕組みについて考えることができる。 堆積岩が形成される仕組みについて考えることができる。 地質構造や化石などの地層の記録や地層の対比などに基づいて、地球の歴史について考えることができる。 c:地球の歴史を知る方法に興味を持ち、地層に基づいて地球の歴史を知ることができる理由について調べようとする。 地球の歴史を知る方法に興味を持ち、地層や体積岩が形成されるしくみについて調べようとする。 地層や堆積岩が形成される仕組みについて振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。 地球の歴史を知る方法に興味を持ち、地質構造や化石などの地層の記録や地層の対比などに基づいて、地球の歴史を知る方法を調べようとする。	・授業観察 ・ノート ・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・演習プリント ・小テスト	・授業観察 ・ノート

※令和４年度以降入学生用

３学期	第４部　自然との共生	第1節　地球環境と人類 第2節　地震災害・火山災害 第3節　気象災害 第4節　災害と社会 第5節　人間生活と地球環境の変化	a: 人類が自然から受けている多様な恩恵について理解することができる。 地震災害、火山災害について理解することができる。 気象災害について理解することができる。 地震や火山、気象の観測方法を理解することができる。 地域の特徴に合わせた防災対策が必要であることがを理解することができる。 人間生活と地球環境の変化との関わりについて理解することができる。 b:地球環境の変化の時間・空間スケールについて考えることができる。 人間が自然から受けている多様な恩恵について、考えることができる。 地震災害、火山災害について、考えることができる。 気象災害にについて、考えることができる。 地域の特徴に合わせた防災対策について、考えることができる。 人間生活と地球環境の変化との関係について、考えることができる。 c:自然との共生に興味を持ち人類が自然から受けている多様な恩恵について調べようとする。 人類が自然から受けている多様な恩恵について、振り返って日常生活や社会に生かそうとする。 自然との共生に興味を持ち地震災害、火山災害について調べようとする。 地震災害、火山災害について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。 自然との共生に興味を持ち気象災害について調べようとする。 気象災害について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。 自然との共生に興味を持ち地震や火山、気象の観測方法とについて調べようとする。 自然との共生に興味を持ち地域の特徴に合わせた防災対策について調べようとする。	・授業観察 ・定期考査	・定期考査 ・演習プリント	・授業観察 ・ノート

※令和４年度以降入学生用

			自然災害の観測方法と対策について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。 自然との共生に興味を持ち、人間生活と地球環境の変化との関係について調べることができる。 人間生活と地球環境の変化との関係について、振り返って日常生活や社会に生かそうとする。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度